

2026年度中期経営計画

2024年5月に2026年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「熱く、高く、そして優しく2026」を発表しました。利益重視経営による更なる企業価値向上を基本方針とし、必達目標として売上高1兆2,500億円、営業利益1,400億円、営業利益率11%超、純利益率7%超、ROE12%以上、ROIC10%以上を掲げ、取り組んでいます。

中期経営計画の位置付け

長い歴史の中で磨き、進化させてきた「パワーエレクトロニクス」を強みとして、脱炭素社会への転換、デジタル化の進展など変化する時代に適応しながら、エネルギー・環境事業でサステナブルな社会に貢献する企業であり続けるため、将来の成長に向けた準備期間と位置付けています。

重点施策

成長戦略の推進

エネルギー、インダストリー、半導体で事業の伸長を計画しています。成長領域であるグリーントランスフォーメーション(GX)、デジタル化、グローバルの分野において新製品の投入による事業拡大を目指します。(詳細は研究開発・知的財産P37～40)

海外事業の拡大に向けては、現地設計、地産地消を進化させるとともに、注力地域であるインド・東南アジアを中心に拡大する再生可能エネルギーなどの電力需要や省エネニーズに応えるグローバル商材の投入を加速していきます。(詳細はセグメント別概況P29～36)

さらに、将来の成長に向けて、成長分野であるエネルギー、インダストリー、半導体への投資を継続し、設備投資は市場動向を見極め適切な時期に実行していきます。2027年度以降の売上拡大に貢献する新事業創出に向けては、営業、事業、研究開発の部門が横断的に連携して戦略を検討し、パートナー企業との共創に向けて取り組んでいきます。

収益力の強化

生産設備の自動化、内製化、標準化の展開、プラットフォーム設計に加え、デジタル・AI技術を活用した生産技術の高度化による製造現場の生産性・品質向上および原価低減を図ります。(詳細はものづくり・調達P41～44)

創出したキャッシュを成長分野への設備投資・研究開発、M&A、情報投資などに充当し、安定した財務基盤の維持と成長性の両立を目指します。(詳細は財務・資本戦略P25・26)

経営基盤の強化

持続的な企業価値向上に向けて、環境、人財、ガバナンスを中心とした経営基盤の強化に継続的に取り組みます。(詳細は環境P45～50、人財P51～54、ガバナンスP55～68)

業績概況 (億円)

	2023年度 実績	2026年度 中期経営計画
売上高	11,032	12,500
営業利益	1,061	1,400
営業利益率	9.6%	11.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	754	900
純利益率	6.8%	7.2%

財務指標

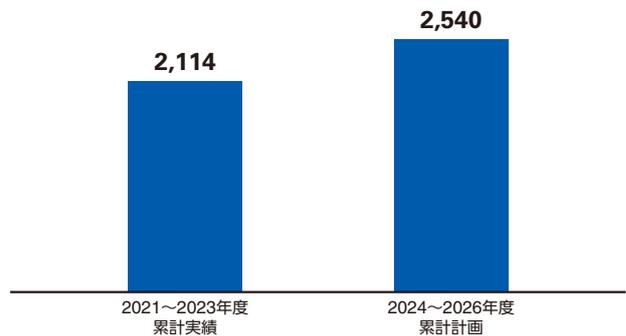
ROE	13.5%	12%以上
ROIC	11.5%	10%以上
自己資本比率	47.4%	50%程度
ネットD/Eレシオ	0.2倍	0.2倍程度
配当性向	25.6%	30%目安

※ 為替レート

2023年度実績：US \$151.41円、EURO163.24円、RMB20.83円

2026年度中期経営計画：US \$140.00円、EURO150.00円、RMB19.50円

設備投資額 (億円)



研究開発費 (億円)

